

平成 22 年度長崎大学 FD (ワークショップ) : アクティブ・ラーニング講座 1
「多様な PBL を導入した授業方法」
実施要項

○趣 旨 :

今日の学士課程教育の焦点であるジェネリックスキル育成のためには、アクティブ・ラーニングと総称される学生主体の学習形態が有効である。そのなかでも、現実的な文脈のなかで問題発見・問題解決を促す PBL の手法が注目を集めており、本学においても、教養教育と専門教育の別を問わず、より広範囲での導入が期待されている。そこで、平成 17 年度以降、PBL を全学的に展開している三重大学の実践経験に学びながら、PBL 導入に際して教員に求められる知識・技能・態度、及び実践上の留意点や環境的支援のあり方等について、ワークショップ形式で習得する。

○開催日 : 平成 22 年 12 月 18 日 (土) ~19 日 (日) (1泊2日)

○場 所 : 長崎市 式見ハイツ (長崎市四杖町 2671-1)
※長崎大学より貸し切りバスにて移動 (移動時間 : 約 30 分)

○講 師 : 山田康彦氏 (三重大学教育学部教授・高等教育創造開発センター教育開発部門長)
中西良文氏 (三重大学教育学部准教授・高等教育創造開発センター教育評価部門長)

○定 員 : 60 名

○行 程 : (変更する場合があります)

12 月 18 日 (土)

11:00 大学集合, バスで会場へ移動

12:30-13:45 セッション 0 講演及びディスカッション

「長崎大学の教育革新 (仮題)」 片峰茂学長

14:00-16:00 セッション 1 講義「三重大学での PBL の導入経過と PBL の概要」

16:15-17:15 セッション 2 講義「PBL を軸とした教育の成果評価」

17:30-19:00 セッション 3 グループワーク「PBL シナリオを作ってみる」

12 月 19 日 (日)

9:00-10:30 セッション 4 グループワーク「各部局での PBL 授業を構想する」

10:45-11:30 セッション 5 まとめと今後の計画

11:45 バスで大学へ, 到着後解散

○主 催 : 長崎大学
企画・実施 : 大学教育機能開発センター

○受講証明書

参加セッションを付記した長崎大学 FD 受講証明書を発行します。

○申込方法

①学部担当係へ申込みください。

②または、以下の項目を電子メールまたはFAXにて次の連絡先にお送りください。

- ・ 氏 名
- ・ 所 属
- ・ 職 名
- ・ 電子メールアドレス
- ・ 電話番号

○申込締切

平成 22 年 12 月 3 日 (金)

○お問い合わせ

長崎大学 大学教育機能開発センター
〒852-8521 長崎市文教町 1-14
TEL 095-819-2077 担当 島田・上島

【講師紹介】

山田康彦（やまだやすひこ）氏

三重大学教育学部教授・三重大学高等教育創造開発センター教育開発部門長。専門は、教育哲学、美術・芸術教育論。2004年、国立大学法人化と同時に、教育担当の理事・副学長。高等教育創造開発センター、共通教育センター、学生支援総合センター等の教育・学生支援関係の推進組織を設置。教育改善・教育評価体制も構築し、PBL教育を軸とした教育方法の改革も進めた。現在、PBL教育をさらに幅広く展開していく手引き書も編集中。2007年から2年間、教育学部長。

中西良文（なかにしよしふみ）氏

三重大学教育学部学校教育講座准教授・高等教育創造開発センター教育評価部門長。専門は学習心理学。特に、学習動機づけ・コミュニケーショントレーニング・教育評価について研究を進める。高等教育創造開発センター教育評価部門長として、大学教育目標の学生における達成度を評価・省察する「アンケートフィードバックシステム」の開発や、「学生の学び」を中心とした授業評価の開発などの教育評価活動を展開。主な論文として「当日ブリーフレポート(BRD)方式による講義の効果 -興味度・理解度・集中度についての実験的検討-」大学教育学会誌 2003年(宇田光氏との共著)・「携帯電話を用いた心理学実験授業がもたらす効果 -講義への参加感は学習への従事を増すか?-」大学教育学会誌 2003年(奥村晴彦氏との共著)・「動機づけと社会的クリティカルシンキングとの関連 -大学生の「感じる力」と「考える力」-」三重大学教育実践総合センター紀要 2006年(廣岡秀一氏・横矢祥代氏との共著)。